



ご近所とのおすそ分けやラジオ体操、グランドゴルフなどの仲間は、地域の皆さんにとって当たり前のお楽しみです。こうしたつながりは、お互いを気遣い、介護サービスに頼らず自宅で暮らし続けるための重要な鍵となります。「つながる通信」ではそういったささえ合いを「お宝」として、発信していきます。

【感染防止の3つの基本】

① 2メートル離れる

飛沫感染を防ぐため
人との距離をとりましょう

両腕分の距離を確保



横並びで座る



椅子はひとつ空ける



② マスクの着用

外出時や会話をするときは、
マスクを着けましょう

鼻と口の両方を覆う



ゴムひもをかける



隙間がないか確認



③ 手洗い

帰宅直後、調理や食事の前には
必ず手を洗いましょう

水と石鹸を使う



30秒以上もみ洗い



すすぎは15秒以上



① 身体的距離の確保（ソーシャルディスタンス）

新型コロナウイルスの飛沫感染を防ぐため、人と人との距離を「2m」空けましょう。また、会話の際には、真向かいには座らない、椅子はひとつ間隔をあけて座る、レジ前では手を伸ばした長さの2倍程度の距離を取るようにしましょう。

② マスクの着用

飛沫による感染を防ぐためには症状の有無に関わらず、外出先で人と会話をするとき、人の多い公共スペースを利用するときはマスクを着用しましょう。また、高温・多湿といった環境下では、熱中症のリスクが高くなる場合もあるので適宜はずして休憩することも忘れずにしてください。

③ 手洗い

新型コロナウイルスは飛沫だけでなく、手に付着したウイルスが粘膜に触れることでも感染します。口や鼻だけでなく目からも感染することがあり注意が必要です。帰宅後、調理の前後、食事前に手洗いを習慣化しましょう。併せてうがい、洗顔、着替えも行うとさらに効果的。外出時に携帯用のアルコール消毒を持参することもおすすめです。

地域のお宝発見～日頃の交流が支え合い活動～ 太田市生活支援体制整備事業

取材先

◇毛里田地区 原宿町見守り隊

◇決まりを作らず自分のタイミングで



長島さん 上田さん 岩下さん



荒木さん 二宮さん

毛里田小学校の校長先生、PTAの依頼を受けて平成30年9月1日より見守り隊が始まりました。スタート当初は10人、現在は9人で毎日下校時に見守りをしています。

5時間下校と6時間下校の児童がいるので、来れる人が出られる時間に無理なく自分のタイミングで活動しています。また5時間目と6時間目の合間には散歩をしながら声かけをしたり、人が集まっている場所を発見したり、通学路の草むしりなどをして空き時間も自然と地域の見守り活動につながっていました。

◇子どもたちの笑顔が元気の源！

『子どもたちの“ありがとう”“さようなら”の元気な声を聞くと疲れが吹っ飛んじゃうね！！』

毎日顔を合わせているので子ども達も安心して笑顔で声をかけてくれたり、あいさつをしてくれるように。バスや車の中からも手を振ってくれるそうです。みなさん口をそろえて「子ども達の笑顔を見ると励みになるし、頑張れるんだよ！」とお話してくれました。

各自徒歩で小学校や交差点まで来て見守りの活動が終わると皆で並んで徒歩で帰ります。荒木さんは健康管理の一環として活動しているようで「体が元気じゃないとね。みんなも健康管理には気を付けてるよ。」とお話していました。



チェックポイント

- ・見守りを通じて世代間交流
- ・健康維持のための運動に
- ・児童の見守り活動から地域の自然な見守り活動まで

◇安心安全の見守り隊

岩下さんは地域の子どもの人数を把握していて心配な子がいる時は、家の近所まで見守りをする事もあるそうです。

小学校とも連携を取りながら安心安全に、また笑顔で元気に活動している姿が印象的でした。

◇『つながる通信』は太田市社会福祉協議会のホームページ<https://otashakyo.jp/>に掲載しております

お問合せ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

電話 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032